

NO. 5 事業名 森林基幹道開設事業（国補）

箇所・地区名 けん とく さん
乾 徳 山 線

平成20年度 公共事業等再評価調書

1. 再評価調書

(区分) **国補** 県単

事業名	森林基幹道開設事業 (国補)			箇所・地区名	乾徳山線		所在地	山梨市三富上釜口		事業主体	山梨県													
当初	計画期間	S58 ~ H20		変更後	-		今回見直し予定																	
	総事業費	2,706 百万円		総事業費	3,951 百万円		-																	
(1) 事業の概要																								
<p>①事業目的及び効果 本路線は山梨市三富大平地区から乾徳山、黒金山の東側を通過して西沢溪谷入口である広瀬地区を結び、青笹川流域から広瀬湖右岸にかけての利用区域1, 237haの広大な森林を管理経営することを目的とした林道である。 利用区域内のうち713haが人工林であり、人工林率は57.6%となっている。また、途中から森林管理道塚本山線が分岐しており、森林の水源かん養、国土保全機能等の適正な整備に必要な路線である。また、西沢溪谷、乾徳山などの観光地を連結することから、保健休養の利用にも寄与する。</p> <p>②事業概要 森林基幹道 計画延長 15,554m 幅員 4.0m 利用区域面積 1,237ha 森林資源蓄積量 64,598m³</p> <p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度以前</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>11,756</td> <td>360</td> <td>3,438</td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>2,885</td> <td>102</td> <td>964</td> </tr> </tbody> </table> <p>④特記事項 クリスタルラインに位置づけられており、観光面でも地元の期待は強い。</p>														平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降	延長 (m)	11,756	360	3,438	事業費(百万円)	2,885	102	964
	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降																					
延長 (m)	11,756	360	3,438																					
事業費(百万円)	2,885	102	964																					
<p>⑤再評価時の評価状況〔継続〕 過度の観光車両の進入は自然環境や歩行者への影響が懸念されるため、観光と自然環境の共存、歩行者の安全確保などの視点で計画を見直し、予定どおりの完成を図られたい。(H15再評価時)</p> <p>(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕</p> <p>①地域・住民の意向状況 森林の持つ多面的機能を生かすことのできる林道なので一日も早い完成を望まれている。(H20.5.13 山梨市長の意見)</p> <p>②産業・経済情勢 なし。</p> <p>③国等の方針変更 なし。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等の変更 ・富士川上流地域森林計画 (平成19~28年度) ・山梨県林道網整備計画 (平成17年3月) ・県有林管理計画 (平成18~27年度)</p> <p>⑤自然環境条件等の変化 なし。</p> <p>⑥その他 なし。</p>																								
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C 未算出 再評価時計画における事業全体B/C 未算出 再々評価時計画における事業全体B/C 1.49 再々々評価時計画における事業全体B/C 1.53 <p>9,857,181 千円 (効果額) / 6,449,619 千円 (費用計) = 1.53 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。 事業採択基準値 1.00 以上</p>																								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要</p> <p>景観対策に考慮した先線ルートの見直しを行ったことと、施工区間の地形が急峻で、地質も脆弱で、路側構造物及び法面保護工等にかかる事業費がかさんだことから、平成14年度に全体計画延長と事業費の見直しを行った。</p> <p>当初：全体計画延長14,645m 事業費 2,706百万円 変更：全体計画延長15,554m 事業費 3,951百万円</p> <p>②施工済みの事業内容</p> <p>全体計画のとおり。</p> <p>①進捗率</p> <p style="text-align: center;">(整備済計 12,116m / 全体 15,554m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H15*</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>81</td> <td>85</td> <td>88</td> <td>92</td> <td>96</td> <td>100</td> <td>経過年数/計画年数×100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>68</td> <td>70</td> <td>71</td> <td>74</td> <td>76</td> <td>78</td> <td>実施済延長/計画延長×100 (H20 は見込み)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*再々評価の実施年度</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由</p> <p>急峻な地形と脆弱な地質等の影響により、計画どおりの事業進捗とはならなかったため。</p>		H15*	H16	H17	H18	H19	H20	算出方法	計画	81	85	88	92	96	100	経過年数/計画年数×100	実績	68	70	71	74	76	78	実施済延長/計画延長×100 (H20 は見込み)	<p>⑤今後の事業執行上の問題点</p> <p>なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み</p> <p>今年度に急峻な地形の区間を通過でき、平成21年度以降は地形が緩い箇所となるため、開設延長の伸びが期待できるが、平成20年度完了時点で残計画延長が約3,400mであるため、計画期間を見直したい。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性</p> <p>計画期間の見直し</p> <p>現計画 昭和58年度～平成20年度 変更計画 昭和58年度～平成27年度</p>
	H15*	H16	H17	H18	H19	H20	算出方法																		
計画	81	85	88	92	96	100	経過年数/計画年数×100																		
実績	68	70	71	74	76	78	実施済延長/計画延長×100 (H20 は見込み)																		
	<p>(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>地形に合った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また急峻な地形においては路肩の縮減を行うなど、総合的なコスト縮減に努める。</p> <p>(6) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。</p> <p>(7) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()</p> <p>森林の適正管理、地域の林業振興及び観光による周辺地域の活性化に必要な路線であるため、観光と自然環境の共存に十分配慮し、コスト縮減に努めながら計画期間を7年延長し継続する。</p>																								

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



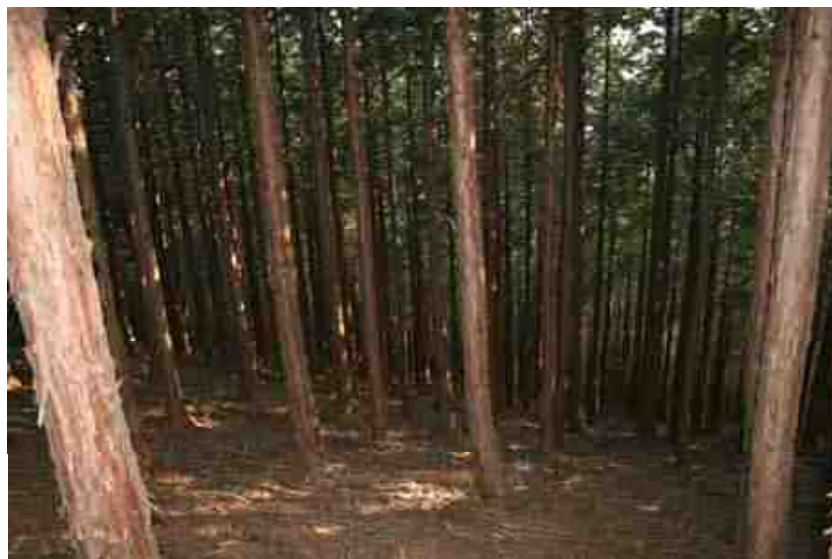
計画地遠景(北工区)



整備済みの林道乾徳山線と沿線の造林地状況

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



利用区域内の要間伐森林の状況



開設状況(急峻な地形)

3. 添付資料シート(3)

□現況等写真



景観に配慮した林道整備状況



景観に配慮した林道整備状況